

# 防衛北海道

令和2年

4月発行 Vol.69

第71回さっぽろ雪まつり

ウポポイ（民族共生象徴空間）  
制作：陸上自衛隊第18普通科連隊



## 目次

- 北海道防衛局長による講演 ..... 2
- 日米共同訓練（ノーザンヴァイパー） ..... 3
- 我が国の防衛と予算について ..... 4~5
- 大雪像制作の裏側を紹介！ ..... 6~7
- 絆（きずな）～白老町と白老駐屯地の紹介～ ..... 8~9
- 令和2年度自衛官等採用案内 ..... 10

編集・発行

防衛省北海道防衛局広報誌等編集委員会  
札幌市中央区大通西12丁目札幌第3合同庁舎  
Tel.011-272-7579  
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



# 北海道防衛局長による講演 ～恵庭市議会防衛議員連盟～

令和2年2月15日（土）、当局は、恵庭市議会防衛議員連盟の依頼を受け、恵庭市民会館において、末永北海道防衛局長が講演を行いました。

開会にあたり、本講演の主催者である恵庭市議会防衛議員連盟幹事長の市川愼二恵庭市議会議員の司会のもと、同連盟会長の早坂貴敏恵庭市議会議員による主催者挨拶に続き、来賓代表として原田裕恵庭市長による挨拶が行われました。

末永局長による本講演では、「我が国を巡る安全保障環境と防衛計画の大綱」と題し、格段に速度を増す我が国を取り巻く厳しい安全保障環境の変化に触れながら、今後の防衛力の在り方、保有すべき防衛力の水準等とともに、恵庭市における防音工事の現状、地方調達等について、約1時間にわたり説明を行いました。

当日は、恵庭市長、恵庭市議会議長のほか、同連盟、隊友会、商工会、町内会連合会の方々など255名が聴講され、講演の終わりには、同連盟顧問の伊藤雅暢恵庭市議会議長による挨拶が行われ、閉会となりました。



北海道防衛局長 末永 広



同連盟は、自衛隊に関する諸問題について調査研究を行う事並びに恵庭市に所在する自衛隊の体制維持・拡充及び北海道大演習場の積極的な活用を促し、更なる住民福祉の向上に寄与することを目的として平成29年6月に発足したものであり、今回の講演は、防衛省の様々な施策を理解するために同連盟により計画されたものです。

北海道防衛局においては、防衛省の政策、自衛隊の活動、当局が行っている各種業務等に関する講演等について、当局管内の地方公共団体や学校等からご要望があれば、**講師を派遣**しています。ご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。



【連絡先】北海道防衛局企画部地方調整課地方協力確保室  
TEL : 011-272-7571  
FAX : 011-272-7561

# 日米共同訓練（ノーザンヴァイパー）

令和2年1月22日から2月8日までの18日間、北海道大演習場、矢臼別演習場等において、陸上自衛隊（北部方面隊）と米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）が実施されました。本訓練は、陸上自衛隊と米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、共同対処能力の向上を図るものです。

また、本訓練は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄の負担を軽減するため、普天間飛行場に所在する米海兵隊のMV-22オスプレイ等の訓練活動を沖縄県外に移転するものでもあります。

訓練開始式



患者搬送訓練



北海道大演習場

矢臼別演習場

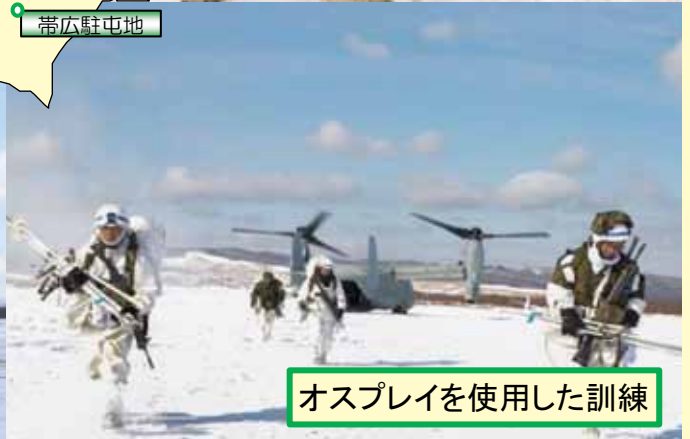
帯広駐屯地

千歳基地

オスプレイ



オスプレイを使用した訓練



訓練終了後の2月11日には、恵庭市黄金ふれあいセンターで米海兵隊員がボランティア活動として、雪の滑り台を作成し、地域の方との交流が行われました。



## 【当局の対応】

当局は、訓練開始から終了まで北海道大演習場、矢臼別演習場、千歳基地、帯広駐屯地に出張所を設置し、職員を常駐させ、関係自治体への情報提供やMV-22オスプレイの騒音測定等を行いました。

# 我が国の防衛と予算について

## 令和2年度防衛関係費

(単位：億円)

| 区 分         | 令和元年度<br>予 算 額 | 対前年度<br>増△減額 | 令和2年度<br>予 算 額 | 対前年度<br>増△減額 |
|-------------|----------------|--------------|----------------|--------------|
|             |                |              |                |              |
| 防衛関係費（歳出予算） | 50,070         | 682 [1.4]    | 50,688         | 618 [1.2]    |
| 新規後年度負担     | 24,013         | 4,074 [20.4] | 24,050         | 37 [0.2]     |

1. [ ]は対前年度伸率(%)

2. SACO関係経費、米軍再編関係経費のうち地元負担軽減分、新たな政府専用機導入に伴う経費及び防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に係る経費を除いたもの

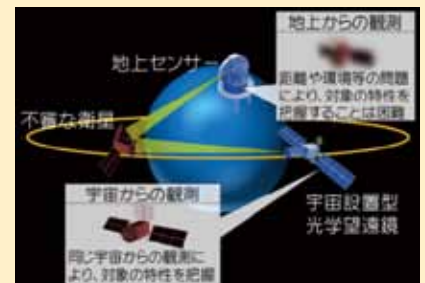
## 令和2年度防衛関係費の主な事業

※以下の係数は契約ベースである。

防衛大綱及び中期防の2年目として、宇宙・サイバー・電磁波領域を含む領域横断作戦の実施が可能となるよう「多次元統合防衛力」の構築に向け着実に防衛力を強化

### 1. 宇宙領域における能力強化

- 宇宙状況監視（SSA）を主任務とする宇宙作戦隊（仮称）の新編に着手
- SSA衛星の整備（33億円）
- 宇宙状況監視（SSA）システムの整備（134億円）  
【継続事業】



SSA衛星（イメージ）

### 2. サイバー領域における能力強化

- サイバー防衛隊（共同の部隊）を約70名増員（約220名 → 約290名）
- 米国防大学等のサイバー戦指揮官要員課程への隊員の派遣（0.4億円）
- 高度人材の発掘のためのコンテスト“MOD-CTF”※（仮称）の開催（4百万円）  
※：Ministry of Defence – Capture the Flag



スタンド・オフ電子戦機の開発（イメージ）

### 3. 電磁波領域における能力強化

- スタンド・オフ電子戦機の開発（150億円）
- ネットワーク電子戦システムを装備する陸自電子戦部隊の新編

#### 4. 海空領域における能力強化

- F-35Aの取得（3機：281億円）
- F-35Bの取得（6機：793億円）
- 空中給油・輸送機（KC-46A）の一括調達（4機：1,052億円）
- 我が国主導の「次期戦闘機」の開発に着手（111億円）
- 護衛艦「いずも」の改修（31億円）
- 能力向上した固定翼哨戒機（P-1）の取得（3機：632億円）
- 水中防衛用小型UUV※の導入（75億円）  
※：Unmanned Underwater Vehicle



戦闘機（F-35B）  
（イメージ）



護衛艦「いずも」

#### 5. 総合ミサイル防空能力の強化

- 陸自イーゼス・アショアの垂直発射装置（VLS）の取得（115億円）  
（※）特定の配備地を前提とする経費は計上なし
- 弾道ミサイル防衛用ミサイル：SM-3ブロックII Aの取得（301億円）



固定翼哨戒機（P-1）の取得

#### 6. 機動・展開能力の強化

- 陸自輸送ヘリ（CH-47JA）の一括調達（3機：228億円）

#### 7. 持続性・強靱性の強化

- 航空優勢、海上優勢の確保に必要な対空ミサイル、魚雷の取得（198億円）



SM-3ブロックII A

#### 8. 人的基盤の強化

- 隊員の生活・勤務環境の改善のための施設及び日用品等の整備（371億円）
- 新大綱・中期防の実施体制を整えるため、自衛隊員たる事務官等を大幅に増員（新規増員299名）



輸送ヘリコプター（CH-47JA）

令和2年度予算の概要については、防衛省HPでもご覧になれます。

防衛省HP：[https://www.mod.go.jp/j/yosan/yosan\\_gaiyo/index.html](https://www.mod.go.jp/j/yosan/yosan_gaiyo/index.html)

# 大雪像制作の裏側を紹介!

陸上自衛隊第11旅団は、令和2年1月7日から2月11日までの間、「第71回 さっぽろ雪まつり」に民生協力として参加し、第3施設団、北部方面後方支援隊北部方面輸送隊及び北部方面通信群の支援を受け、人員延べ約7,300人、車両延べ約580両をもって、大雪像2基の制作と開催期間中の維持・補修、音楽演奏を行いました。

本誌では、普段見ることができない雪像制作過程にスポットを当て、写真でご紹介します。



## さっぽろ雪まつり 大雪像ができるまで



① 模型作成



② 雪積み



③ 粗削り



④ 削り出し



⑤ 部品作成



⑥ 部品取付



⑦ 細部彫刻



⑧ 夜間作業



⑨ 仕上げ

# 完成!!

ワジェンキ公園の水上宮殿とショパン像  
制作：陸上自衛隊北部方面通信群



令和初の開催となった「第71回さっぽろ雪まつり」は、例年に比べ大変な雪不足から、遠方の採雪場所から雪を輸送するなど困難を極めました。自衛隊が制作した緻密で迫力ある大雪像は、多くの来場者に夢と感動を与えました。

## 米海軍三沢スノーチームが「さっぽろ雪まつり」の雪像制作に、37回連続で参加しています!!



写真提供：札幌米国総領事館

今年の雪像のタイトルは、『飛翔、米海軍』です。海軍パイロットをイメージした雪像の裏側には、日米同盟60周年のロゴをあしらっています。  
米海軍三沢スノーチームは、日米間の友好親善に寄与しています。

Twitter: @USConsSapporo

Facebook: @USConGenSapporo

@NAFMisawa

きずな  
「絆」

白老町と白老駐屯地の紹介



ウポポイPRキャラクター「トウレットポン」



2020.4.24 OPEN  
北海道白老町に「民族共生象徴空間」誕生。

白老町は、北海道の南西部に位置し、南は太平洋に面し、西は登別市、東は苫小牧市に隣接しています。東西に細長い地形で、425.64平方キロメートルある面積の約75%は森林が占めているほか、海、山、川、滝、湖といった自然あふれる街です。

豊かな自然で育まれた様々な特産品があり、黒毛和牛の「白老牛」や「虎杖浜たらこ」、椎茸、鶏卵などが有名です。温泉も多数あり、特に虎杖浜温泉では日帰り・宿泊ともにお楽しみいただけます。

また、白老町には2020年4月に国のアイヌ文化の復興・創造の拠点として、ポロト湖畔に「ウポポイ（民族共生象徴空間）」が誕生します。先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館である「国立アイヌ民族博物館」と、古式舞踊等の上演や体験プログラムを通じてアイヌ文化を学べる「国立民族共生公園」にて、多彩な魅力に触れることができます。



オススメ!

ウポポイの開業に合わせ、近隣には白老町の新たな観光拠点として「ポロトミントラ（白老駅北観光商業ゾーン）」がオープンします。

町内観光スポットやグルメ情報の提供、体験プログラムの案内をはじめ、特産品販売や軽飲食も楽しめ、敷地内広場では様々なイベント開催も予定しています。



白老駅北観光インフォメーションセンター





白老牛



虎杖浜たらこ

※「虎杖浜たらこ」は、胆振水産加工業協同組合の地域団体商標です。



戸田 安彦 町長



虎杖浜温泉



倶多楽湖

陸上自衛隊白老駐屯地には、自然災害時における支援や防災訓練を始めとした当町の様々なイベント等への参加など、安全・安心なまちづくりの実現のためにご尽力いただいております。

# 白老町

〒 059-0995

白老郡白老町大町1丁目1番1号

電話 0144-82-2121 (代表)

FAX 0144-82-4391

<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/>

## 白老駐屯地



満開の桜と本部隊舎



弾薬補給の状況

白老駐屯地は、白老町の山間部に位置する大自然に囲まれた駐屯地であり、昭和33年開設以来61年間、陸上自衛隊における弾薬兵站基盤の一つとして、白老町と共に歴史を刻んできました。

弾薬を取り扱う駐屯地として規律を厳正にするとともに、地域交流を積極的に行い、隊員と地域との風通しの良い駐屯地となるべく努めております。

## 自衛官候補生

自衛官候補生は入隊と同時に「自衛官候補生」に任命され、陸上自衛官が1年9ヵ月、海上・航空自衛官が2年9ヵ月勤務する制度です。

任用期間内は職務を通じて体力と技術を磨きつつ、それらに関係する資格取得も目指せます。

採用年齢：18歳以上33歳未満の方

受付期間：年間を通じて受付しています。

試験期日：試験期日は受付時にお知らせします。

## 一般曹候補生

一般曹候補生では、将来部隊の中核で活躍する自衛官を養成します。

非任期制のため、しっかり腰を据えて自分のペースで成長したい、または自衛官として長く活躍したいという方にぴったりです。選抜試験を経て、幹部に昇任することもできます。

採用年齢：18歳以上33歳未満の方

受付期間：3月1日～5月15日

試験期日：1次 5月23日

2次 6月24日～29日（いずれか1日）

合格発表：1次 6月5日

最終 7月22日

## 処遇が改善されました！

### ○自衛官候補生

手当

133,500円 → 142,100円

俸給月額(2士任官後)※

169,900円 → 179,200円(高卒)

198,100円(大卒)

### ○一般曹候補生

俸給月額※

169,900円 → 179,200円(高卒)

198,100円(大卒)

※大卒者の初任給は、複数年かけて段階的に引き上げられる予定で、令和2年度に入隊する2士大卒者は188,800円になる予定です。

◆お申し込みや詳しい内容を知りたい方は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



函館地方協力本部  
0138(53)6241



帯広地方協力本部  
0155(23)5882